

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構と

常磐興産株式会社との主な連携内容

- ◆ 公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構（以下、イノベ機構）と常磐興産株式会社は、福島イノベーション・コースト構想（以下、イノベ構想）の推進に寄与するため、下記分野において連携した取組を実施する。
- ◆ イノベ機構、常磐興産株式会社が互いに緊密な相互連携と協働による活動を推進し、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

1 構想に関連する情報発信の取組に関すること

- (1) イノベ機構が行っている構想実現に向けた各取組について、常磐興産株式会社が有するネットワークを活かし、首都圏を含む県内外への周知を強化する。
- (2) イノベ構想に関する取組の展示、PR動画の紹介等について相互に協力する。

2 イノベ構想の推進に向けた産業集積の取組に関すること

- (1) 事業者の開発成果の実証実験について、スパリゾートハワイアンズを始めとする常磐興産が有する施設の活用を図る。
- (2) 事業者の開発製品について、スパリゾートハワイアンズを始めとする常磐興産が有する施設における試用や導入等を検討する。

【具体的な事例】

12月9日から株式会社 e6s（エシックス）様の実証実験を実施中

同社は当機構が福島浜通り地域等へ新たなプレーヤーを呼び込み、産業の集積を図るため、起業・創業を目指す優れたビジネスの種を発掘し、事業化に至るまでの様々な事業を行う取組である「Fukushima Tech Create」事業の採択事業者である。

同社の製品は「インフラに依存しない自立型水洗トイレシステム」を開発し、突然の災害時でも必ず稼働するコンセプトのもと、製品化を目指している。

現在、常磐興産の施設の一部を活用させていただき、製品化に向けた実証実験を行っている

3 構想を担う人材の確保及び育成、交流人口の拡大、その他、双方が必要と認める事項

- ・ 東日本大震災・原子力災害伝承館、福島ロボットテストフィールドを始めとする浜通り地域への誘客拡大等を図る。